

新たな計画の基軸的考え方について

第60回沖縄県振興審議会

平成23年7月26日(火)

新たな計画の基軸的考え方について

○新たな計画の策定・推進にあたっては、次の二つの観点を全体に通底する(基軸的)考え方としたい。

○まず、大きな時代変動の中、沖縄自らの発展はもとより、日本経済が躍動するアジアの活力を取り込むための橋頭堡を築くべく、新機軸的施策の展開によって、沖縄の特性が発揮され、日本と世界を結び、アジア・太平洋地域の平和と発展に貢献する先駆的地域を形成するなど、強くしなやかな地域経済を構築する。

○次に、豊かな自然環境のもと子どもが健やかに生まれ育ち、文化・医療・福祉・保健・教育などが充実し、子どもから高齢者まで安心して生活できる生活空間を創造し、優しさと潤いのある沖縄らしい地域社会を構築する。

○これらにより、沖縄21世紀ビジョンで掲げた5つの将来像の実現及び4つの固有課題の解決を図り、“時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな「美ら島」おきなわ”を実現する。

○強くしなやかな地域経済の構築
○沖縄らしい優しい社会の構築

<21世紀ビジョンの将来像の実現>

- I 沖縄らしい自然と歴史、伝統文化を大切にする島
- II 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
- III 希望と活力にあふれる豊かな島
- IV 世界に開かれた交流と共生の島
- V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

<4つの固有課題の克服>

- I 大規模な基地返還とそれに伴う県土の再編
- II 離島の新たな展開
- III 海洋島しょ圏 沖縄を結ぶ交通ネットワークの構築
- IV 沖縄における地域主権と道州制のあり方

新たな計画の特徴等について

計画	沖縄振興計画 平成14～23年度 【国計画】	新たな計画 平成24～33年度 【21世紀ビジョン将来像の実現を目指し、県が主体的に策定する計画】	
特徴	・民間主導の自立型経済の構築 ・フロンティア創造型の振興策	・強くなやかな地域経済の構築 (観光、情報に次ぐ第三第四のリーディング産業の創出と域内産業の活性化)	・沖縄らしい優しい社会の構築 (自然、伝統、文化の保全・継承、安全・安心な暮らし、交流と共生、人材育成)
目標	・自立的発展の基礎条件整備 ・特色ある地域として整備	・自立、交流、貢献を指針とし、我が国を牽引する新生沖縄を創造	・自然や文化などよき沖縄の価値を高め ていく再生沖縄の取組 沖縄21世紀ビジョンの将来像実現及び4つの固有課題の克服
新機軸・主要事業	・離島架橋・離島空港整備 ・教育、医療、交通、水道、農林水産基盤等、生活産業基盤の整備 ・沖縄都市モノレール、沖縄工業高等専門学校、沖縄科学技術大学院大学、県立博物館・美術館、南部医療センター等 3次の振興開発計画における「本土との格差是正」を目標とした社会資本整備中心から、産業政策を主要なテーマとして機軸を設定 機軸 民間主導の自立型経済の構築 フロンティア創造型の振興策	生活基盤・産業基盤整備の継続 競争力のある社会資本の整備 ・那覇空港滑走路増設、国際線ターミナルビル、基幹道路網、中南部基地跡地等の整備、鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入、空手道会館・郷土芸能会館等 日本と世界の架け橋となる沖縄型自立経済の構築 沖縄らしい優しい社会の構築 【新機軸的施策例(主要施策案)】 ・アジアと融合する沖縄型経済の構築(アジア規模の共通基盤整備等) ・新リーディング産業の育成(ソフトパワー産業化等) ・離島の条件不利性克服と国益貢献(海洋政策等) ・百万都市形成に向けた基盤整備 【主要施策案】 ・子どもが健やかに育つ島づくり ・災害に強い島づくり ・ちゃーがんじゅうの島づくり ・エコアイランド沖縄の形成 ・ウチナー文化の躍動等	
関連制度	揮発油税・酒税の軽減 沖縄振興開発金融公庫 観光(H10)、情報(H10)、特自貿(H11)、航空機燃料税の軽減(H9) 金融、産業高度化(H14)等 軍転特措法(H7)	高率補助から一括交付金へ (継続) (新) 国際物流経済特区、交通コスト低減策、クリーンエネルギー導入促進制度、総合的離島振興制度、子育て支援制度 (拡充) 駐留軍用地跡地利用推進法(仮称)等	
沖縄振興の背景	【特殊事情】 ①沖縄が26年余りにわたり我が国の施政権の外にあった歴史的事情 ②広大な海域に多数の離島が存在し本土から遠隔にある地理的事情 ③我が国でも稀な亜熱帯地域にあること等の自然的事情 ④米軍施設・区域が集中しているなどの社会的事情		【新たな背景】 ・アジアのダイナミズムを取り入れ、我が国の成長の一翼を担う地域としての発展可能性

新たな計画の特徴(施策展開の基軸的な考え:P13 相互の関係)

日本と世界の架け橋となる 沖縄型自立経済の構築 【強くしなやかな経済の構築】

成長のエンジン 【移出産業】

- ・観光リゾート地の形成
- ・情報通信関連産業の高度化等
- ・臨空・臨港型産業の集積
- ・知的・産業クラスターの形成
- ・文化・スポーツ等を活用した新たな産業の創出
- ・環境関連産業の展開 など

成長の翼 【域内産業】

- ・地域産業を支える中小企業の振興
- ・亜熱帯気候を活かした農林水産業の振興
- ・沖縄ブランドを生み出すものづくり産業の振興
- ・商店街・中心市街地の活性化と商業の振興
- ・雇用対策、多様な人材の確保 など

生み出した利益を優しい社会の構築へ

優しい社会が県民に活力を与え、強くしなやかな経済の構築に邁進

沖縄らしい優しい社会の構築 【優しさと潤いのある沖縄らしい地域社会の構築】

地域コミュニティ 【ユイマールの精神】

- ・県民
- ・地域組織
- ・ボランティア
- ・NPO
- ・事業者
- ・各種団体
- ・行政

人に優しい社会 【価値観やニーズの共有】

- ・豊かな自然環境
- ・充実した文化・医療・福祉・保健・教育
- ・子どもが健やかに生まれ育つ環境
- ・安全・安心な生活空間
- ・国内外の他地域との交流・共生

住みよい地域社会の構築

日本と世界の架け橋となる沖縄型自立経済の構築

【強くしなやかな経済の構築】

産業の展開

成長のエンジン

【複数育つ移出産業】

世界水準の観光リゾート地の形成

情報通信関連産業の高度化・多様化

臨空・臨港型産業の集積

科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成

文化・スポーツなどソフトパワーを活用した新たな産業の創出

環境関連産業の戦略的展開

好循環の構築

成長の翼

【波及効果を高める域内産業】

地域産業を支える中小企業の振興

亜熱帯性気候を活かした農林水産業の振興

沖縄ブランドを生み出すものづくり産業の振興

商店街・中心市街地の活性化と商業の振興

雇用対策と多様な人材の確保

移出産業との連携・補完

外貨獲得 + 所得増による域内需要創出

想定される新機軸的施策

<主要施策（案）>

1. アジアと融合する沖縄型経済の構築

- * アジア規模の共通基盤の整備
(観光・IT・物流・知的交流拠点等)
- * 国際的な交通・物流ネットワークの構築

2. 新リーディング産業の育成

- * ソフトパワーの産業化
- * 産業振興を加速する新制度の創設

3. 離島の条件不利性克服と国益貢献

- * 国家利益の確保に大きな役割を果たす離島の新たな位置づけ
(我が国における海洋政策の拠点化等)
- * ユニバーサルサービスの実現
(交通コスト低減、医療提供体制の充実等)

4. 百万都市形成に向けた基盤整備

- * 駐留軍用地跡地利用
- * 鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入
- * 低炭素都市づくりの推進

経済社会環境の変化に対応できる産業構造

日本と世界の架け橋となる沖縄型自立経済の構築

沖縄らしい優しい社会の構築

【優しさと潤いのある沖縄らしい地域社会の構築】

